

平成26年度 第3回 蕨市地域包括支援センター運営協議会 会議概要

1. 日 時 平成27年3月30日（月）午後1時30分～3時30分

2. 会 場 蕨市総合社会福祉センター 3階 第2集会室

3. 出席者 （敬称略）

委 員：飯野 朗子 羽根田 高洋 大濱 益子 本吉 義博

水野 由喜男 生井 恵 岡本 和子

事務局：川崎 文也（健康福祉部長） 小栗 信二（介護保険室長）

野口 恵子（介護保険室係長） 鈴木 美紀子（介護保険室係長）

白井 敦（介護保険室主事）

蕨市地域包括支援センター：土肥仁美（所長） 伊東光枝（看護師）

4. 内 容

【議 題】

- （1）第6期蕨市高齢者福祉計画・介護保険事業計画
- （2）新しい地域支援事業に向けての取り組みについて
- （3）平成26年度 地域包括支援センター事業実施状況について
- （4）平成27年度 第一地域包括支援センター事業予定（案）について
- （5）平成27年度 第一地域包括支援センター予算（案）について
- （6）平成27年度 第二地域包括支援センターの事業について
- （7）蕨市地域包括支援センター運営方針（案）について

（質疑）

委 員：第6期計画には、市民の意見はどのように反映されていますか。

事務局：計画の策定懇談会を3回実施し、その際の委員の意見を反映させています。

また、市の長期計画である“「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン”が目指す「高齢者が地域でいきいきと暮らせるよう、健康づくりや介護予防、地域

への参加の促進、就労の機会づくりなどを進め、高齢になっても健康で生きがいを持ち、できる限り自立した生活を送ることができる環境づくり」の実現ということを受けて第6期計画の目標を立て、事業に反映させています。

委員：第6期計画では、新規事業が増えているが、ある程度の数字の目標をもって立てているのですか。

事務局：現在の利用状況等を鑑みて、次期計画の目標値を立てています。

委員：高齢化が進むといわれているが、蕨市の10年後の高齢化率はどうなりますか。

事務局：平成26年10月1日現在は、22.5%、10年後の平成37年には、23.7%の高齢化率と推計されています。数値としては、あまり増えない印象があるが、65歳以上人口のうち、後期高齢者である75歳人口が増えていくと推計されています。

委員：地域包括支援センターが1か所増設されるが、それぞれの受け持ち地区の人口はどのようになっているか。また、職員の配置はどのようになっていますか。

事務局：錦町・北町・中央を担当する第一地域包括支援センターは約9800人、南町・塚越を担当する第二地域包括支援センターは約6700人が受け持つ高齢者人口になります。

職員については、介護保険法施行規則で定められた人員基準を、市が条例で定めることになっています。配置人員については、担当地区の人口に応じて基準を照らし合わせて配置をします。

委員：第一地域包括支援センターの事業予定にあった“ケアマネ交流会”や“ケアマネ研修会”は、二つの包括支援センターが合同に行っていきますか。

事務局：多くの人に意見を聞きながら、二つの地域包括支援センターが同じ方向で事業を進めていけるよう、第一・第二地域包括支援センターが合同で実施していく予定です。

委員：介護予防が必要なことは分るが、介護予防普及啓発事業の“ずっと健康教室”の教室名を「水中教室」や「マシン教室」とすると、健康な人しか参加できないイメージを持ってしまう。教室名を工夫したり、教室の案内の際に「足・腰の弱い人でも大丈夫」等の記載をした方が良いと感じる。

事務局：今後、多くの高齢者が参加してみたいと感じるよう、教室名やチラシ等を工夫していきます。